

**スクールカウンセラー  
の活動の基本  
～私の場合**

**② 中学校編**

**福島美由紀**



# 小学校との違い

- とにかく不登校が多い。
- 1年目でも予約がいっぱいになる。
- コンサルテーションの時間が遅くなる。  
(超過勤務をされているS Cが多い)
- 問題行動のスケールが違う。
- 自分の言葉でしっかり話してくれるので、カウンセリングはやりやすい。
- 学年主任の先生と感性が違いすぎると、使ってもらいにくいことがある。



# 着任時に気を付けていること（福島バージョン）

- 個性を出して、**存在感**をアピールする。学校に一人なのだから。
- 学校は基本「**健康**」モード。不健康そうな人には相談をもちかけてもらえない。
- **清潔**で明るい服装とふるまいと雰囲気作り。デオドラントは常識。
- 職員室では、**雑談**を心がけ、なるべく多くの先生と話す（キドニタテカケシ衣食住）。
- 管理職はもちろん、養護教諭・事務員・技能員（用務員・校務員etc.）・図書や印刷の人とも**仲良く**。
- カウンセリングルームはなるべく**明るくさわやかに**。





# 着任時にすること

- 「年間行事計画表」をもらい、**年間勤務予定表**を作成する。
- 「校時表」を見て、**予約表**を作る。
- 「校務分掌」をもらい、どの先生と**連携**をとる必要がありそうか見当をつけておく。
- コーディネーター（不登校加配の先生・生徒指導・教育相談・特別支援・教頭・養護教諭等各学校によって異なる）と打ち合わせをして、ケースの予約やフィードバックをどのようにするか、**話し合う**。
- 不登校対策委員会や教育相談委員会や生徒指導委員会等、どこかの**会議に参加**させてもらえるよう志願する。

# カウンセラーの 自己紹介

- ・職員朝礼や職員会議で紹介される場合
- ・着任式や全校朝礼で紹介される場合
- ・カウンセラー便りで自己紹介・学校便りで紹介
- ・録画や放送等で紹介される場合



# スクールカウンセラーの職務内容

①生徒への  
カウンセリング

②カウンセリングに関する教職員及び保護者に対する助言・援助

③カウンセリング  
マインド研修の講師

④生徒の困難・ストレスの対処方法等の教育プログラムの実施

⑤生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供

⑥その他生徒のカウンセリング等に関し、学校において適当と認められること

# ①生徒への カウンセリ ング

- ①前のカウンセラーとの引継ぎ  
前任者の仕事であり、現任者としてはゼロスタートでも良い
- ②予約の取り方  
担任から頼まれることがほとんど  
養護教諭からの紹介  
直接学校に電話をしてくる場合、  
教頭がとりつぐ学校が多い
- ③フィードバック・コンサルテーションを  
どうするか

**②カウンセリング  
に関する教職員  
および  
保護者に対する  
助言・援助**

**・コンサルテーション**

・異なる専門性を有する者の間で行われる、情報の伝達・共有、指導、助言を中心とした援助関係の一つ。

・スクールカウンセリングにおいてはS Cの活動に関する環境づくりでもあり、関係創造による介入プロセスそのものでもある。

・わかりやすい言葉で、子どもものの心の「通訳」を心がける。

### ③ カウンセリングマイ ンド研修の 講師

- 夏季研修の間の 1 時間～ 1 時間30分
- 研修コーディネーター・生徒指導・教育相談コーディネーターから依頼される。
- 依頼されない場合は自分から申し出る。
- 「仕事の一環なのでさせてください」  
「こんな時なのでお役に立つ情報をお届けできます。」
- **ここで頑張ると、顔が売れ、カウンセリングやコンサルテーションで大いに使ってもらえるので、最大のチャンス**

# ④生徒の困難・ストレスの対処方法等の教育プログラムの実施

## 最もトレンド

どの時間で調整してもらえるか

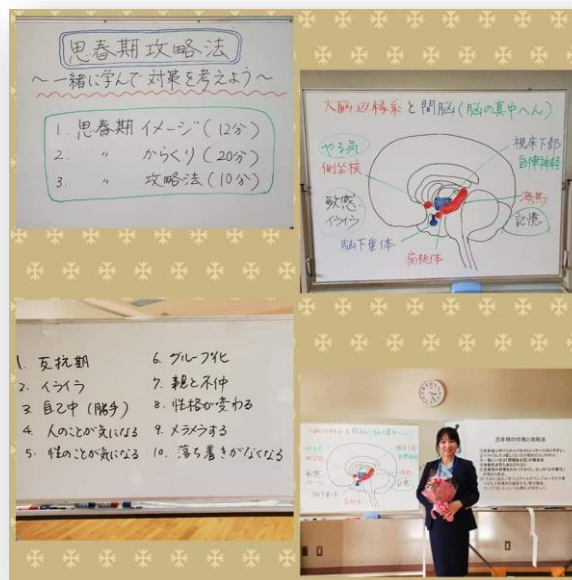
- ①総合の時間
- ②道徳の時間
- ③委員会活動
- ④朝学活・帰りのホームルーム

誰とやるか

- ①一人で
- ②担任や養護教諭や保健体育教諭

教育プログラムを提案して、各クラスでとりくんでもらえるとなお良いのでは？

# 教育プログラムの一風景





# 先輩の情報を もらおう



- カウンセリングマインド研修も教育プログラムもどんなことをやったらよいのか不安
- そういう時は、先輩の情報を借りて、アレンジ。
- 全て模倣したら、伝えたいことが伝わらない。
- 参観させてもらうと良い。

## ⑤生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供

- 「チーム学校」になってから特に多くなった。
- ケース会議
- 管理職・生徒指導・教育相談・学年主任・担任・養護教諭・SSW・関係機関（関係機関を巻き込んだ会議の場合）
- SSW、もしくは教育委員会から派遣された指導主事や福祉の人等が進行することが多いが、**必ず「専門家」としての意見を求められる。**

⑥その他生徒  
のカウンセリ  
ング等に関し、  
学校において  
適当と認めら  
れること

• 家庭訪問

- 学校によって、認められるところとそうでないところがある。
- 一人では行けず、必ず担任と、というところもある。
- 家の状況がよくわかるので、大変有効な手立て。
- 予約が詰まると、家庭訪問は実質難しい。



**おわり**